

1年 学年だより No 2

(69期生)

2014年6月30日(月)発行

学園祭、大成功！

例年より、1ヶ月近く日程が早まり、1年生の学園祭準備が間に合うのかどうか危ぶむ声もありましたが、全くの杞憂きゆうでした。(※杞憂の意味が分からない人は、辞書で調べてみましょう。中国の故事成語です。)どのクラスもリハを繰り返す度にめざましい進化をとげ、本番はコーラスも小劇も驚くべき完成度でした。コーラスはむしろ例年よりうまいと評判でした。コーラスや立て看には入賞順位が付くのですが、入賞しなかったクラスの合唱・立て看も素晴らしいものでした。小劇は出来合いの有名作品を利用してはいるもののクラス独自の解釈や脚色があり、創作部分を交えて本格的なシナリオになっていました。「笑」劇だけではない哲学的・社会派的作品に仕上がりに、奥深い展開に感心しました。音響・照明・大小道具もさまざまな工夫があり、破綻なくしっかりとクラスを支えていました。そして、キャストの皆さんは素晴らしい持ち味を個性的に演じていました。これを支えた学園祭委員さんも照明・音響機器の展開・撤収に日ごとに慣れて、あっという間に作業を終了させるレベルに到達しました。

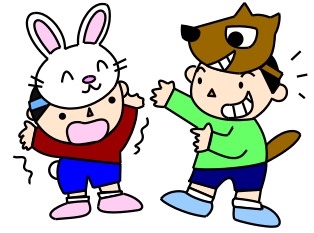


お客さんも大入り、満員御礼が相次ぎ、多目的ホール許容量いっぱいの毎回200人以上の観覧者であふれ、にぎわっていました。

クラス	小劇上演タイトル	合唱	立て看
1-1	アナと雪の女王 寝屋川Ver.	COSMOS	1位
1-2	たま雪姫	COSMOS(1位)	
1-3	桃太郎	手紙	
1-4	ドイ・ストーリー	明日への扉(2位)	
1-5	ドラえもん ~僕らの咎~	チェリー	
1-6	KEITA	空も飛べるはず	
1-7	桃太郎 X 仮面ライダー	手紙	
1-8	白雪姫 ~誰も知らないもう一つの物語~	明日への扉	2位
1-9	花より男子 in 寝屋川学園	空も飛べるはず(3位)	
1-10	lb	YELL	3位

さまざまな役割でリーダー役を担ってくれた委員さんや係の代表の人、お疲れ様でした。コミュニケーション力で、人をまとめて運営していくことはなかなか難しいことでしたね。でも、真摯(この字の意味や読み方は分かりますか?分からない人は辞書を引いてみましょう。)に向き合って悩み苦しんだなかに、きっと次へと成長する力の種が宿っていることと思います。

それにしても、3年生の演劇やコーラスは圧巻！でした。
69期生も2年後はあんなレベルのことができる先輩に成長できたらいいですね。

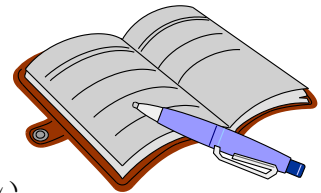


前期第2中間考査近づく！

一方で、定期考査が近づいてきました。今日6月30日で、一週間前です。前回の第1中間考査では、高校に入学して初めてのテスト。つい中学校の時と同じようなレベルの準備でテストを受けてしまってダメージを受けてしまった人。また、逆に中学校の時は頑張っていたのに、油断して全く勉強をしないか一夜漬けで臨んで失敗したとっている人。今度はしっかりと計画を立てて、高校生らしい勉強法と頑張りを実現していきましょう。

高校はいわゆる「欠点」という制度があるために、つい40点以上をとることに気持ちが行きそうですが、2年半後の進学という目標を考えた時、それではダメです。得意科目は80点以上を目指しましょう。不得意な科目は60点以上を目指して下さい。

意味も分からず丸暗記するのは、大変よくありません。少し時間がかかっても、しっかりと何故そうなるのかをたどりながら、応用できる「本当の力」が身につくように心がけて欲しいです。この時期はテストがあるから勉強するのですが、テストはモチベーションとして利用しつつも、本当は「真の学力」が身につくように取り組んで下さい。よく分からないけど、とりあえず丸暗記してぎりぎり40点をクリアしたというのはだめですね。「本当の力」を身につけたから、自然と60点・80点をクリアできたという風になって欲しいのです。頑張ってください。しっかりと力を出し切って、気持ちよく夏休みを迎えましょう。



7日(月)		8日(火)		9日(水)		10日(木)		11日(金)		
1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	3
国語 B	数学 IIA (60分)	英語 表現I	世界史A 現代社会 (60分)	国語 A	物理 基礎 (60分)	*英語 I		生物 基礎	数学I (60分)	HR

*リスニングあり

スマホ 注意報発令中！

最近、歩きながらスマホを触っている人をときどき見かけます。危険なことですからやめて下さいね。また、スマホから離れられなくなって、一日に何時間もゲームやラインに時間を使っている人もいます。勉強する時は、スマホや携帯は遠ざけましょう。電源を切ってしまうのもいいかもしれません。便利な道具ですが、スマホの奴隷になってしまわないように、適正な使い方を心がけて下さい。また、LINEやメールが自分だけでなく、相手の勉強時間や睡眠時間を奪っているということも覚えておいて下さいね。